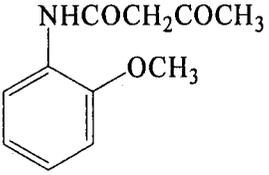
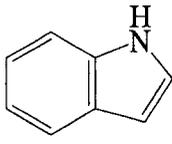
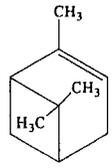
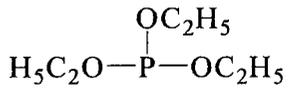
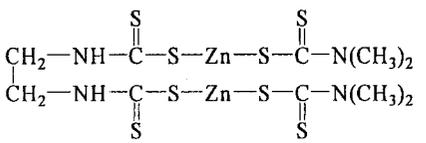
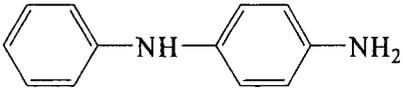
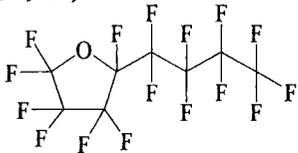
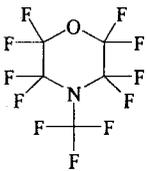
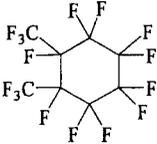
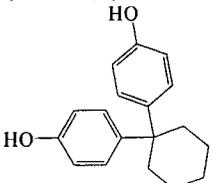
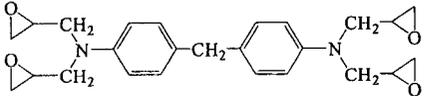
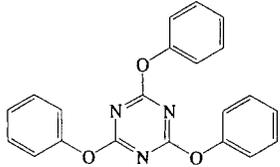
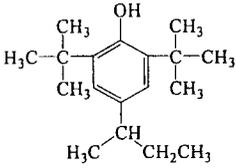
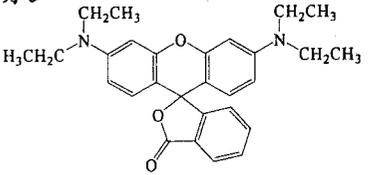
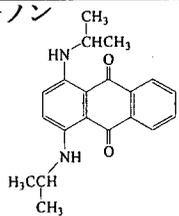
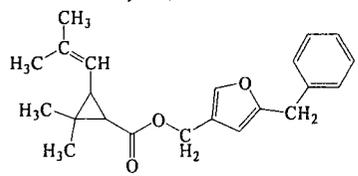
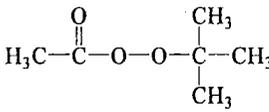
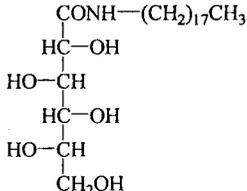
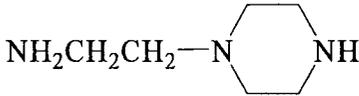
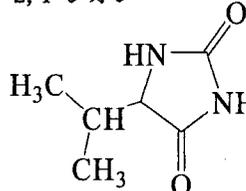
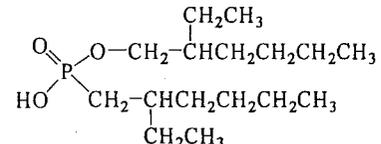


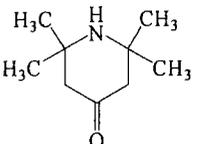
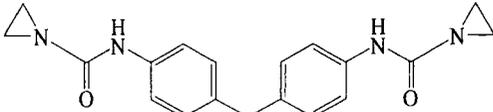
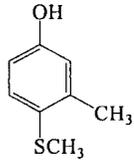
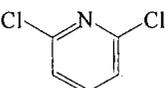
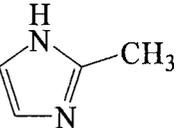
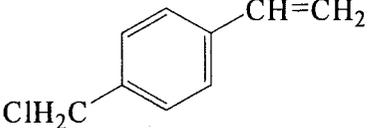
平成18年7月 既存化学物質点検 (分解・蓄積) 結果資料 (第56回審査部会)

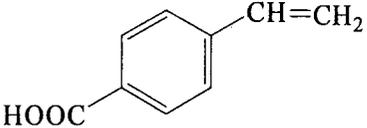
K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定案 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1480	アセトアセト- <i>o</i> -アニシジド (92-15-9) 3-1642 	BOD : 25, 29, 28 (27) TOC : 37, 36, 35 (36) HPLC: 100, 100, 100 (100) 被験物質は全て消失し、アセト酢酸部分 は分解され、 <i>o</i> -アニシジン(3-682, 良分 解性)を生成し、残留した。			良分解性	なし	1
1753	インドール (120-72-9) 5-0130 	BOD : 89, 92, 92 (91) TOC : 96, 99, 98 (98) HPLC: 100, 100, 100 (100)			良分解性	なし	2
1756	$\alpha$ -ピネン (80-56-8) 4-0593 	BOD : 91, 90, 95 (92) G C : 100, 100, 100 (100)			良分解性	なし	3
1438	亜りん酸トリエチル (122-52-1) 2-2904 	BOD : 78, 74, 74 (75) TOC : 89, 85, 86 (86) G C : 100, 100, 100 (100) 被験物質は水中で変化し、亜りん酸ジエ チル(2-2001)、亜りん酸モノエチル(2- 1995)、亜りん酸及びりん酸を生成し、 残留した。	0.74*1		保留；逆転 法指示	OECD TG302Cに よる分解度試 験	4
863	ビス ( <i>N, N</i> -ジメチルジチオカルバミン酸) <i>N, N</i> -エチレン ビス (チオカルバモイルチオ亜鉛) (64440-88-6) 2-1848 	BOD : -15, -21, -13 (0)*2 被験物質は速やかに変化し、適切な分析 条件を確立することが出来なかったた め、被験物質分解度は算出しなかつた。 2-イミダゾリジンチオン, ジメチルジチ オカルバミン酸, ジメチルアミン(2- 0134, 良分解性), 二硫化炭素(1-0172, 難 分解性, 高濃縮性ではない)が生成し残留 した。また、複数の不明変化物が微量生 成し、残留した。	有機金属のため 適用外		難分解性	濃縮度試験が 可能か今後検 討	5

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定案 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1429	ペルフルオロヘプタン (335-57-9) 2-2366  $F_3C-CF_2-CF_2-CF_2-CF_2-CF_2-CF_3$	BOD : 3, 8 (6) GC : -3, 2 (0)* <sup>2</sup> Closed bottle法	6.99* <sup>1</sup>		難分解性	濃縮度試験	6
1444	4-アミノジフェニルアミン (101-54-2) 3-0134  	BOD : -5, -4, -4 (0)* <sup>2</sup> HPLC: 100, 100, 100 (100) 被験物質は消失し、複数の変化物及び溶媒に溶解しない変化物が認められた。	1.82* <sup>1</sup>		難分解性	被験物質は全量変化し、変化物の一部が未同定のため今後検討	7
1646	ペルフルオロ(ブチルテトラヒドロフラン) (335-36-4) 5-0071  	BOD : -5, -4 (0)* <sup>2</sup> GC-MS : -2, 1 (0)* <sup>2</sup> Closed bottle法	5.90* <sup>1</sup>		難分解性	濃縮度試験	8
1738	ペルフルオロ-N-メチルモルホリン (382-28-5) 5-3790  	BOD : -4, -6 (0)* <sup>2</sup> GC : 2, -1 (0) Closed bottle法	1.27* <sup>1</sup> >3.93* <sup>3</sup>		難分解性	濃縮度試験	9
1739	ペルフルオロ-1,2-ジメチルシクロヘキサン (306-98-9) 3-3247  	BOD : 1, -9, -5 (0)* <sup>2</sup> GC : -6, -3, -4 (0)* <sup>2</sup>	4.75* <sup>1</sup> >3.80* <sup>3</sup>		難分解性	濃縮度試験	10
1754	1,4-ジクロロブタン (110-56-5) 2-0061  $Cl-CH_2-CH_2-CH_2-CH_2-Cl$	BOD : 7, 12, 3 (7) GC : -1, 0, -1 (0)* <sup>2</sup>	2.81* <sup>1</sup>		難分解性	分配係数試験	11

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定案 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1755	1,1-ビス(4-ヒドロキシフェニル)-シクロヘキサン (843-55-0) 4-0044 	BOD : -1, 0, -2 (0) HPLC: 1, 1, 3 (2)	5.00* <sup>1</sup>		難分解性	濃縮度試験	12
1757	N,N,N',N'-テトラグリシジル-4,4'-ジアミノジフェニルメタン (28768-32-3) 4-0112 	BOD : -8, -10, -10 (0)* <sup>2</sup> HPLC : 73, 68, 59 (66) 被験物質は試験液中で一部加水分解し、 水溶性変化物を多数生成し、残留した。	2.53* <sup>1</sup>		難分解性	被験物質の分配係数試験	13
1758	シアヌル酸トリフェニル (1919-48-8) 5-3860 	BOD : 0, 0, 0 (0) HPLC: 5, 2, 4 (4)	5.97* <sup>1</sup>		難分解性	濃縮度試験	14
1760	2,6-ジ-tert-ブチル-4-sec-ブチルフェノール (17540-75-9) 3-0540 	BOD : -1, -1, -1 (0) HPLC: 3, 2, 1 (2) 被験物質の一部はソーダライムに吸着した。	6.43* <sup>1</sup>		難分解性	濃縮度試験	15
1762	3',6'-ビス(ジエチルアミノ)-スピロ[イソベンゾフラン-1(3H),9'-[9H]キサンテン]-3-オン (509-34-2) 5-3090 	BOD : -3, -2, -2 (0)* <sup>2</sup> TOC : 2, 0, 3 (1) HPLC : 1, 1, 1 (1)	6.63* <sup>1</sup>		難分解性	濃縮度試験	16
1763	1,4-ビス(イソプロピルアミノ)アントラキノン (14233-37-5) 4-1263 	BOD : 1, 0, 1 (1) HPLC: 0, -2, -1 (0)* <sup>2</sup>	6.07* <sup>1</sup>		難分解性	濃縮度試験	17

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定案 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1764	5-ベンジル-3-フリルメチル-DL-シス, トランス-クリサンテメート (10453-86-8) 9-1306 	BOD : -4, -2, -3 (0)*2 HPLC : 1, 2, 1 (1)	7.11*1		難分解性	濃縮度試験	18
1304	<i>tert</i> -ブチルペルアセタート (107-71-1) 2-2528 	BOD : 14, 14, 13 (14) GC : 100, 100, 100 (100) 被験物質は消失し、 <i>tert</i> -ブチルアルコール(2-3049, 難分解性、高濃縮性ではない)及び <i>tert</i> -ブチルヒドロペルオキシド(2-224, 難分解性、高濃縮性ではない)を生成し、残留した。酢酸(2-0688, 良分解性)部分は分解した。	1.44*1		難分解性 高濃縮性ではない	なし	19
1596	<i>N</i> -ステアリル-D-グルコンアミド (18375-66-1) 9-0764, 9-2030 	BOD : 18, 10, 4 (11) HPLC: 22, 11, 3 (12) 判定結果 難分解性 (H14年5月29日)	5.39*1	1区 : 790倍 2区 : 730倍 脂質含有率 開始前 3.45% 終了後 4.06%	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	21
1626	1-アミノエチルピペラジン (140-31-8) 5-0961 	BOD : 1, 0, -1 (0) TOC : 1, 1, 2 (1) GC : 5, 1, 0 (2) 判定結果 難分解性 (H16年5月28日)	<0.3 (pH11.0) (HPLC法) -1.57*1	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	23
1662	5-(1-メチルエチル)イミダゾリジン-2,4-ジオン (16935-34-5) 9-2190 	BOD : 0, 7, 4 (4) TOC : 3, 3, 5 (4) HPLC : 1, 3, 1 (2) 判定結果 難分解性 (H15年3月24日)	<0.5 (pH7.0) (HPLC法) 0.18*1	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	25
1686	2-エチルヘキシル=水素=(2-エチルヘキシル)ホスホナート (14802-03-0) 2-2012 	BOD : 1, 0, 0 (0) HPLC: 0, 2, 2 (1) 判定結果 難分解性 (H16年5月28日)	6.09*1	1区 : ≤0.60~2.5倍 2区 : ≤6.0~26倍 脂質含有率 開始前 3.47% 終了後 2.36%	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	27

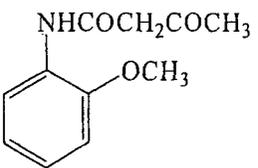
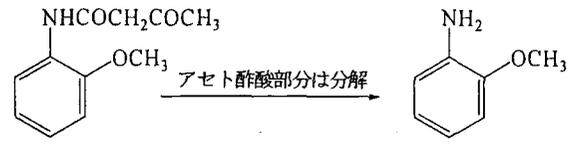
K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度 (%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定案 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1688	2,2,6,6-テトラメチル-4-オキソピペリジン (826-36-8) 5-0777 	BOD : 4, 5, 5 (5) TOC : 0, 0, 0 (0) GC : 1, 3, 2 (2) 判定結果 難分解性 (H16年1月30日)	0.6 (pH10.0) (HPLC法)  0.43*1	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性で はない	なし	29
1690	4,4'-ビス(エチレンイミノカルボニルアミノ)ジフェニルメタン (7417-99-4) 5-0008 	BOD : 1, 0, 0 (0) HPLC : 68, 68, 68 (68) 判定結果 難分解性 (H16年6月18日)	1.4 (pH7.0) (HPLC法)  2.57*1	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性で はない	なし	31
1699	3-メチル-4-メチルチオフェノール (3120-74-9) 3-1100 	BOD : 0, 0, 0 (0) TOC : -3, -7, -3 (0)*2 HPLC : 1, 2, 2 (2) 判定結果 難分解性 (H16年1月30日)	2.6 (pH2.0) (HPLC法)  2.66*1	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性で はない	なし	33
1702	2,6-ジクロロピリジン (2402-78-0) 5-3688 	BOD : 0, -3, -3 (0)*2 TOC : 6, 5, 9 (6) HPLC : 3, 4, 6 (4) 判定結果 難分解性 (H16年1月30日)	2.0 (pH7.0) (HPLC法)  2.09*1	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性で はない	なし	35
1706	2-メチルイミダゾール (693-98-1) 5-0382 	BOD : 0, -1, -1 (0)*2 TOC : 3, 1, 0 (1) HPLC : 2, 1, 1 (1) 判定結果 難分解性 (H16年1月30日)	<0.5 (pH9.0) (HPLC法)	分配係数から類推	(難分解性) 高濃縮性で はない	なし	37
1708	4-クロロメチルスチレン (1592-20-7) 3-0046 	BOD : -3, -1, -4 (0)*2 HPLC : 100, 100, 100 (100) 被験物質は変化して、 <i>p</i> -ビニルベンジル アルコールの生成残留を確認した。さら に変化して <i>p</i> -ビニル安息香酸を3~5%生 成し、残留した。 判定結果 難分解性 (H17年11月18日)	3.70*1	<i>p</i> -ビニル安息香酸 から類推	(難分解性) 高濃縮性で はない	なし	39

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度 (%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定案 ( )内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1708変 化物	<p data-bbox="161 172 376 223"><i>p</i>-ビニル安息香酸 (1075-49-6)</p> 	-	2.1 (pH2) (HPLC法)  2.78*1	分配係数から類推	高濃縮性で はない	なし	41

\*1 Kowwin vl.67 SRC-LOGKOW for Microsoft Windowsによる計算値

\*2 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

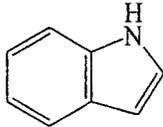
\*3 フラスコ振とう法による予備値

整理番号 K-1480 (NEDO 322, 3-1642)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
アセトアセト- <i>o</i> -アニシジド (92-15-9)	事業対象年度 平成17年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 17. 8. 8~17.12.15	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状    分子式 C <sub>11</sub> H <sub>13</sub> NO <sub>3</sub> 分子量 207.23	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 25, 29, 28 (27)% 直接 TOC 37, 36, 35 (36)% HPLC 100, 100, 100(100)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度* <sup>1</sup> 99.9%	外観 僅かに紅色帯びた白色結晶	審査部会 第 56 回 18年 7月21日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
不純物 (物質名, 含有率) 残り 0.1%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 3720mg/L (25℃) 対メタノール、アセトニトリル、酢酸エチル、 テトラヒドロフラン、クロロホルム 10 g/L 以上	判定	判定
融点* <sup>2</sup> 86.6℃	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 0.53* <sup>4</sup>	備考 1. 回収率* (水 + 被験物質) 系 100% (汚泥 + 被験物質) 系 100% *試験液を直接分析機器に導入。 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	3. 特記事項 ・被験物質は全て消失し、アセト酢酸部分は微生物により分解されたが、 <i>o</i> -アニシジン (官報公示整理番号 3-0682) K-181 1976.7.22(22) 良分解) は微生物により分解されず、残留した。 ・変化の過程 
沸点 測定不可 (200℃付近で液色が黄色に着色し変化した)			
比重* <sup>2</sup> 1.132(86.6℃)			
LD <sub>50</sub> * <sup>2</sup> 2290mg/kg (oral, rat)			
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途* <sup>3</sup> 中間物、有機化学製品用			
生産量* <sup>3</sup> (13年) 製造及び輸入 100~1,000 t 未満			
試料 購入先 和光純薬工業			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

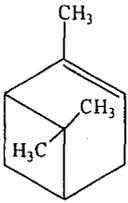
\*1 和光純薬工業添付資料による。  
\*4 Kowwin v 1.67 による計算値。

\*2 <http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp/kisnet/hyouji.asp> (2005/5)による。

\*3 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

整理番号 K-1753 (NEDO 323,5-0130)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
インドール (120-72-9)	事業対象年度 平成17年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 17. 8. 10~17. 12. 22	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状    分子式 C <sub>8</sub> H <sub>7</sub> N 分子量 117.15	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 89, 92, 92 (91)% 直接 TOC 96, 99, 98 (98)% HPLC 100, 100, 100 (100)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 99.9% 外観 無色板状晶	溶解度 (対水, その他) 対水*2 3560 mg/L (25°C) 対メタノール 10 g/L 以上	審査部会 第 56 回 18年 7月 21日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*1 53.0°C	1-オクタノール/水分配係数	判定	判定
沸点*2 254°C	安定性	備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・BODの算出はNH <sub>3</sub> で行った。	備考
比重*3 d <sub>20</sub> <sup>0</sup> 1.22			
LD50*4 1,000mg/kg(oral, rat)			
IRチャートの有無 (有) ・ 無			
用途*5 医薬顔料			
生産量			
試料 購入先 東京化成工業 TCI-GR			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

\*1 東京化成工業添付資料による。 \*2 The Physical Properties Database (Syracuse Research Corporation)による。 \*3 化学大辞典 (共立出版) による。  
\*4 Dictionary Organic Compounds (6th edition) による。 \*5 14705の化学商品 (化学工業日報社) による。

整理番号 K-1756 (NEDO 319,4-0593)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
α-ピネン (80-56-8)		事業対象年度 平成17年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日	
		試験期間 17. 9.26~17.11.21		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮	
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状    分子式 C <sub>10</sub> H <sub>16</sub> 分子量 136.23		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
		試験結果		試験結果		試験結果	
純度*1 99.7%		外観 無色液体		間接		間接	
不純物 (物質名, 含有率) 水分 0.05%以下 残り 0.25%は不明		溶解度 (対水, その他) 対水 3.03mg/L (25°C) 対酢酸エチル 1g/L以上		審査部会 第56回 18年 7月21日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催	
融点*2 -64°C				判定		判定	
沸点*2 156.0°C		1-オクタノール/水分係数 log Kow = 4.27*4		備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 93.3% (汚泥+被験物質)系 93.5%		備考	
密度*1 0.858 g/mL(20°C)				2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構			
LD50*2 3,700mg/kg(oral, rat)		安定性		3. 特記事項 ・28日後の水系保持率 84% (GCによる) ・密閉容器を用いた水系保持率 96% (GCによる)			
IRチャートの有無 (有) ・ 無							
用途*3 塗料溶剤、ショウノウの合成、テルピネオールの原料など							
生産量 (年)							
試料 購入先 関東化学							
経済産業公報発表年月日 年 月 日							

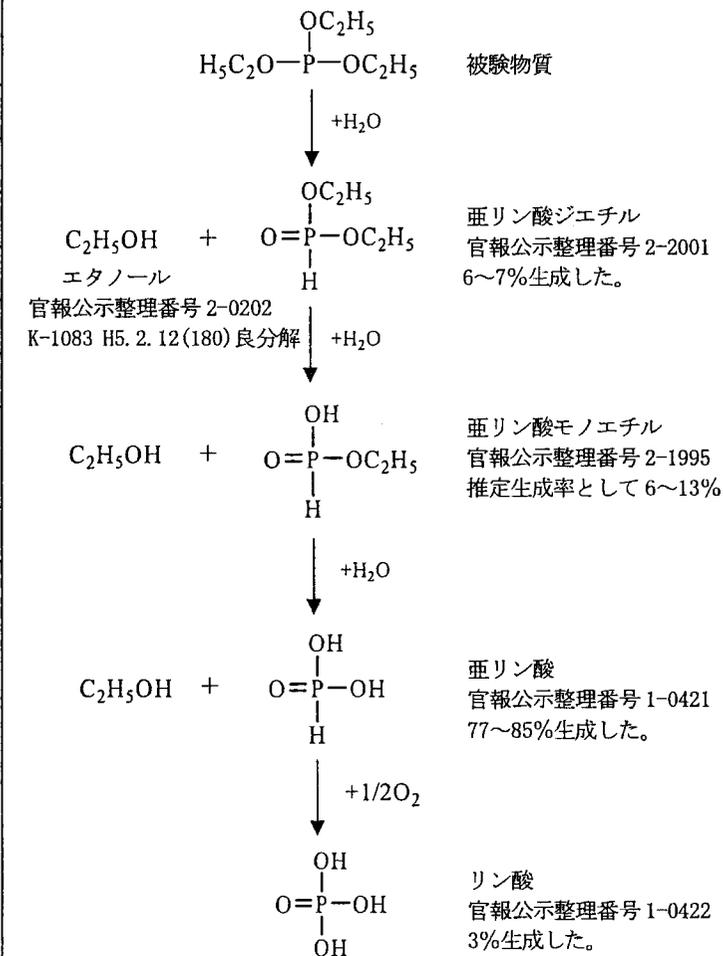
\*1 関東化学添付資料による。 \*2 関東化学製品安全データシートによる。 \*3 化学大辞典 (共立出版) による。 \*4 Kowwin v 1.67 による計算値。

整理番号 K-1438 (NEDO 297, 2-2904)	分解度試験														
亜リン酸トリエチル (122-52-1)	事業対象年度	平成17年度													
	試験期間	16. 11. 26~18. 3. 29													
	試験装置	㊟・揮													
構造式 (示性式) ・物理化学的性状  $\begin{array}{c} \text{OC}_2\text{H}_5 \\   \\ \text{H}_5\text{C}_2\text{O}-\text{P}-\text{OC}_2\text{H}_5 \end{array}$ 分子式 $\text{C}_6\text{H}_{15}\text{O}_3\text{P}$ 分子量 166.16	試験濃度														
	被験物質	100 mg/L													
	汚泥	30 mg/L													
	本試験期間	4 週間													
	試験結果	間接	BOD 78, 74, 74 (75)%												
		直接	TOC 89, 85, 86 (86)%												
			GC 100, 100, 100 (100)%												
純度*1 99.0%(GC)	外観	無色透明液体													
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 1.0%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 加水分解のため測定不可 対アセトニトリル 1g/L以上	審査部会	第56回 18年 7月21日開催												
融点*2 -112℃		判定													
沸点*2 156~158℃ (1013hPa)	1-オクタノール/水分配係数 $\log Kow = 0.74^{*3}$	備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 培養終了時の pH													
比重*1 $d_{20}^{20}$ 0.9586															
LD50*4 >2,400mg/kg(oral, rat)	安定性 水中で加水分解する。	<table border="1"> <tr> <td>(水+被験物質)系</td> <td>(汚泥+被験物質)系</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>[2]</td> <td>[3]</td> <td>[4]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3.8</td> <td>5.3</td> <td>5.2</td> </tr> </table>		(水+被験物質)系	(汚泥+被験物質)系				[2]	[3]	[4]		3.8	5.3	5.2
(水+被験物質)系	(汚泥+被験物質)系														
	[2]	[3]	[4]												
	3.8	5.3	5.2												
IRチャートの有無 (有)・無															
用途*4 還元剤、酸化防止剤、農薬、医薬品の原料															
生産量 (年)															
試料 購入先 東京化成工業															
経済産業公報発表年月日	年 月 日														

4. 特記事項

・被験物質は水中で完全に変化し、エタノール (2-0202, K-1083, H5. 2. 12 (180) 良分解)、亜リン酸ジエチル (2-2001)、亜リン酸モノエチル (2-1995)、亜リン酸 (1-0421) 及びリン酸 (1-0422) を生成した。(汚泥+被験物質)系では、エタノールは検出されず、亜リン酸ジエチル及び亜リン酸モノエチルの一部は残留した。

被験物質の変化



\*1 東京化成工業添付資料による。

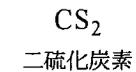
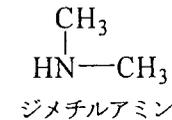
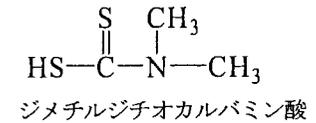
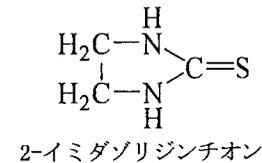
\*2 International Uniform Chemical Information Database (European Chemicals Bureau) (Edition 2000)による。

\*3 Kowwin v 1.67 による計算値。

\*4 14705 の化学商品 (化学工業日报社) による。

整理番号 K-863 (NEDO 74, 2-1848)	分解度試験
ビス(N,N-ジメチルジチオカルバミン酸)N,N-エチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛) (64440-88-6)	事業対象年度 平成17年度
PRTR 1-250 ポリカーバメート	試験期間 16.11.26 ~18. 3.29
構造式(示性式)・物理化学的性状	試験装置 標・(揮)
	試験濃度
	被験物質 100 mg/L
	汚泥 30 mg/L
$\begin{array}{c} \text{S} & & \text{S} \\    & &    \\ \text{CH}_2\text{—NH—C—S—Zn—S—C—N(CH}_3)_2 \\   & &   \\ \text{CH}_2\text{—NH—C—S—Zn—S—C—N(CH}_3)_2 \\    & &    \\ \text{S} & & \text{S} \end{array}$	本試験期間 4 週間
	試験結果
間接	BOD -15, -21, -13 (0)%
直接	
分子式 C <sub>10</sub> H <sub>18</sub> N <sub>4</sub> S <sub>8</sub> Zn <sub>2</sub> 分子量 581.61	
純度* 90.9%	外観 白色粉末
不純物* (物質名, 含有率)	溶解度 (対水, その他)
無機塩類	対水* 2.7 mg/L 対メタノール* 36 mg/L 対アセトン* 104 mg/L 対ジメチルスルホキシド 2 g/L 以上 対ジメチルホルムアミド 1 g/L 以下 対アセトニトリル, クロロホルム, ヘキサン, 酢酸エチル, テトラヒドロフラン 500 mg/L 以下
融点 143.4°C	審査部会 第56回 18年 7月21日開催
沸点 測定不可(230°C付近で茶色に変化)	判定
比重* 1.73	備考
LD50* 1,150 mg/kg(ラット,オス) 1,020 mg/kg(ラット,メス)	1.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構
IRチャートの有無 (有)・無	特記事項
用途* 果樹・園芸用殺菌剤	・被験物質は各種溶媒への溶解性が悪く変化も速いため、分析条件を確立できなかった。よって被験物質分析は実施しなかった。
生産量(年)	・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。
試料	
経済産業公報発表年月日	年 月 日

・被験物質は水中で変化し、2-イミダゾリジンチオン(5-0423, K-378, S53.12.18(48)難分解、S57.11.24(88)低濃縮)が39~43%、ジメチルジチオカルバミン酸(2-1798)が2~3%、ジメチルアミン(2-0134, K-41, S50.9.4(16)良分解)が105~110%、二硫化炭素(1-0172, K-53, S62.12.24(134)難分解、S63.3.24(135)低濃縮)が18~20%生成した。二硫化炭素の一部はソーダライムに吸着した。亜鉛については、水溶性無機亜鉛化合物(構造不明)が1~2%、油性亜鉛化合物(構造不明)が2~3%生成し、残りは不溶性亜鉛化合物(構造不明)が96~97%と算出された。また、複数の不明変化物を生成し、残留した。



亜鉛化合物(構造不明)

\* 提供者添付資料による。

整理番号 K-1429 (NEDO 332,2-2366)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
ペルフルオロヘプタン (335-57-9)	事業対象年度 平成17年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 18. 1.16~18. 3.20	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 Closed bottle	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  $F_3C-CF_2-CF_2-CF_2-CF_2-CF_2-CF_3$  分子式 $C_7F_{16}$ 分子量 388.05	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	有機物質 10.5 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	都市下水処理場二次放流水 1滴/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD 3, 8 (6)% 直接 GC -3, 2 (0)%	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 91.4%(異性体を含む)	外観 無色透明液体		
不純物*1 (物質名, 含有率) テトラフルオロヘキサン(2-2366) 3.1% 不明成分(有機物質) 5.5%	溶解度(対水, その他) 対水*4 0.000012 g/L(25℃) 対クロロホルム 10 g/L以上	審査部会 第56回 18年 7月21日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 -78℃		判定	判定
沸点*2 82.5℃	1-オクタノール/水分係数 $\log Kow = 6.99^{*5}$	備考	備考
比重*3 $d_4^{20}$ 1.7496		1.回収率 (水+被験物質)系 71.1% (植種源+被験物質)系 70.4%	
LD50	安定性	2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	
IRチャートの有無 (有)・無		3.特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	
用途			
生産量(年)			
試料 購入先 東京化成工業			
経済産業公報発表年月日	年 月 日		

\*1 GC及びGC-MSによる \*2 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation)による。 \*3 東京化成工業添付資料による。  
\*4 Beilstein Handbook of Organic Chemistryによる。 \*5 Kowwin v 1.67による計算値。